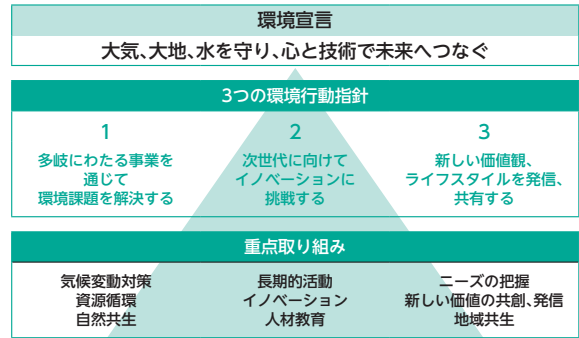


## 三菱電機グループ「環境ビジョン2050」策定

2019年6月、2050年に向けた三菱電機グループの環境課題への取り組み姿勢を定めた「環境ビジョン2050」を策定しました。三菱電機グループではこれまで2021年を目標年とした「環境ビジョン2021」を目指して活動を推進してまいりました。「環境ビジョン2050」では、環境貢献を重要な経営課題と位置づけ、より長期的な視点で環境課題の解決に率先して取り組むことを定めています。具体的には2050年に向けた環境宣言「大気、大地、水を守り、心と技術で未来へつなぐ」のもと、「3つの環境行動指針」に基づき実現していくための「重点取り組み」を示しています。現在とこれからの困難な課題に対してもグループ内外の力を結集し、持続可能な未来に向けた価値創出を推進してまいります。

### 環境ビジョン2050



## ラオス昇降機事業会社設立

2019年6月、経済成長が見込まれるメコン地域における昇降機事業強化の一環として、当社子会社Mitsubishi Elevator (Thailand) Co.,Ltd.(三菱エレベーター(タイ)社)の出資により、MELCO Elevator Lao Sole Co., Ltd.(メルコ・エレベーター・ラオス社)を設立しました。新会社により販売の強化を図るとともに、高品質な保守サービスを提供することによって、2023年度にラオスでの昇降機事業の売上高4.2億円(2018年度比約1.5倍)を目指します。

当社は、成長の著しいメコン地域の新興市場であるカンボジア、ミャンマーにおいても昇降機事業を展開しており、今後さらに事業の拡大を図ってまいります。



メルコ・エレベーター・ラオス社 外観

## 熊谷ラグビー場向けに「オーロラビジョン」を納入

2019年8月、「熊谷ラグビー場」(埼玉県熊谷市)のサブビジョン向けに大型映像装置「オーロラビジョン」を納入しました。当社が2018年8月に納入した国内ラグビー場最大級となるメインビジョンとあわせ、国内ラグビー場初の2面スクリーンとなり、高精細・広視野角LEDの採用により場内スタンド席からの視認性を向上するとともに、鮮明で迫力のある映像を提供し、会場全体を盛り上げます。



メインビジョン(2018年納入)



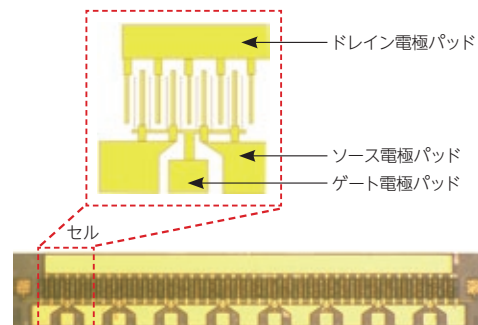
サブビジョン(2019年納入)

## 世界初、単結晶ダイヤモンド放熱基板を用いたマルチセル構造のGaN-HEMTを開発

近年、移動体通信基地局や衛星通信システムの高周波電力増幅器は、小型・軽量化や高効率化などのため、高出力で高効率なGaN-HEMT<sup>\*1</sup>の適用が拡大しています。当社は、2019年9月、国立研究開発法人産業技術総合研究所との共同研究により、高い熱伝導率を持つ単結晶ダイヤモンドを放熱基板に用いた放熱性を高めたマルチセル構造<sup>\*2</sup>のGaN-HEMTを世界で初めて<sup>\*3</sup>開発<sup>\*4</sup>しました。本開発により、高周波電力増幅器の出力の増加と電力効率の向上を実現し、第5世代(5G)移動体通信基地局や衛星通信システムの省エネに大きく貢献します。

\*1 Gallium Nitride - High Electron Mobility Transistor: 窒化ガリウムを用いた高電子移動度トランジスタ  
\*2 複数のトランジスタセルを並列に配置する構造

\*3 2019年9月2日現在(当社調べ)  
\*4 本成果の一部は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託業務の結果、得られたものです。



開発したGaN-HEMTの上面写真(下)とセル構造(上)